

横浜市立鴨志田緑小学校 学校評価報告書 (平成25年度～平成27年度)

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな学力	・子どもが自分考えをもち、それを相手にわかりやすく伝える力の育成 ・互いの考えを伝えあい学び合う姿勢を高める。	学習の中で、自分の考えをもち、伝え合えるために、発表の仕方、聞き方等の基礎基本をしっかり押さえた。またそのような場面を、授業の中で積極的に取り入れ、繰り返し指導した。	A B C D
2 豊かな心	地域の方々とかかわりや縦割り活動、異学年交流等をはじめとする全ての教育活動の中で、相手を認め、思いやる心を育み、自他を大切にしている心育や態度を育てる。	丁寧な事前指導、めあての明確化に努め、子どもたちが活動の成果を実感し、自己肯定感をもてる活動になるよう指導にあたった。子どもの振り返りや地域からの評価でも成果を確認できた。	A B C D
3 健やかな体	長縄チャレンジやマラソン週間に向けての取り組みを通して、子どもたちが運動の楽しさやよさを実感しながら、体力の向上を図る。	長縄チャレンジ・マラソン週間等、子どもたちがめあてをしっかりと意識して取り組み、楽しく体力の向上を図れた。今後も全校の子どもの意欲を高めたい	A B C D
4 児童指導	・全職員で対応する児童指導体制の充実を図る。 ・「なぜ」「何のために」を考えさせながら規範意識を高める。 ・児童指導・児童支援について全職員の共通理解・共通認識を深める。	全職員での情報共有・共通理解を図ることについては、よくできた。組織で対応する体制もできつつある。スタンダードを確認し、さらに密に共通理解を合い丁寧な指導を進めたい	A B C D
5 特別支援教育	・個別の指導計画等を作成し、全ての教職員がかかわりながら一人ひとりに合った指導や支援を行う。 ・全ての教育活動において特別支援教育を意識した実践ができるよう、研鑽に励み、充実を図る。	個別の教育計画を作成し、保護者や子どもとニーズを確認し、支援を進めていくことができた。外部との連携も図れた。個別の教育計画をさらに充実したものと全職員で理解を深め、積極的にいかしていきたい。また、より早い段階で取り組んでいきたい。	A B C D
6 地域連携	・様々な機会を活用し学校の教育活動について積極的に発信をし、一層の理解や連携を図る。 ・地域の方々とかかわりの大切さを子どもが意識し、感謝の気持ちをもって主体的に取り組みことができる姿勢を育てる。	子どもたちは地域の方々とのふれあう機会がたくさんでき、充実したかかわりをもてた。地域の方々から支援していただき、感謝の気持ちももてた。より充実を図っていききたい。情報発信のあり方、職員の地域行事へのかかわりの活性化については、来年度さらに努力していきたい。	A B C D
人材育成 組織運営	・鴨志田中学校ブロックのメンターチームとの連携を図りながら、一人ひとりが課題やテーマに対し主体的に臨めるような研修を実現する。 ・ミドルリーダー育成を目指したミーティングをもち運営力・組織力を高める。	中学校区でのメンターチーム研修は充実し、3校の若手の連携も高まった。校内の研修は、前半は内容的に充実できなかったが、後期に向けて修正し、後半は積極的に研修を行えた。ミドルリーダー育成に向けては目標通り進めることができ、成果を得た。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	中学校合唱コンクールへの6年生の参加、小中合同の地域防災訓練や地域清掃活動6年生の部活動や授業体験、音楽科授業の異校種交流等の活動、リーダー会議や学校保健委員会等を通して、小学生と中学生の子どもの連携の意識が高まり、小学生は中学生あるいは中学校がはつきりとした目標やあこがれとなっていた。職員の間も合同研修、合同協議も部会制度をとり、非常に充実し、中学校や他小学校の教育活動の実態をしり、自校に生かしていこうとする意欲が高まった。学校の取組に対しても、小中連携を進めながら、3校でかかわり合いながら学校教育目標の実現にせまっていくことができた。		
学校関係者 評価結果	鴨志田中学校ブロックの3校の連携の強さ、深さは地域にとってもありがたいことである。いじめについての取組も、真剣によく取り組んでいる。学校だけでなく地域の力でも、子どもたちを見守り、育てていきたい。子どもたちに直にもっとかかわっていききたい。その方法を学校と一緒に考えていきたい。		
評価結果 に対する 学校の見解	本年度、鴨志田中学校ブロックで連携を強化しながら、児童生徒理解・児童生徒指導・授業力向上等を高めるために改善を図ることができた。子どもたちや教職員に地域の方々や保護者がどこでどのように、どんな思いで支援・協力をしてくださっているのかを明確にし、感謝とその思いに応えていくことの大切さを学校として大事にしてきた。それゆえの、さらなる願いを地域の方々・子どもたちから受け、次なる課題をとらえていけたので、全教職員で目指す方向を明確にし進めていきたい。		

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな学力	・課題について自分の考えをもち、それを相手にわかりやすく伝える力を育てる。 ・互いの考えを伝えあい学び合う姿勢を高める。	自分の考えをもち、それを伝えていく力を身につけるため、見通しをもつ力をつけていくようにした。そのための手だてとしてノート指導と板書計画の充実を図り成果を得た。	A B C D
2 豊かな心	・地域の方々とかかわりや縦割り活動等の教育活動のめあてを明確にすることで、より一層の充実を図り、相手の立場や思いを理解し合い認め合える心を育む。	縦割り活動や地域の方々との連携について、ねらいや手だてを明確にし、子どもにもそれらがしっかり理解できるようにした。それにより活動の充実と成果を得た。	A B C D
3 健やかな体	・体力向上1校1実践運動の長縄チャレンジやマラソン週間に向けての取り組みをおとし、子どもたちが運動の楽しさやよさを実感しながら、体力の向上を図る。	児童運動委員会の運営により、長縄・マラソン・ドッジボール等の取り組みが大変充実した。子どもたちは楽しみながら意欲をもって体力向上に励んだ。	A B C D
4 児童指導	・全職員で対応する児童指導体制の充実を進める。 ・ブロック学年研究会を核とした指導体制を効果的に取り入れる。 ・視点の焦点化を図り、短いスパンでの振り返りを指導支援に生かす。	児童支援専任を核とした、組織で丁寧な一歩前に対応する体制づくりに着手し、成果を得た。また、それを進めるためのブロック学年研究会や児童指導支援委員会も充実し、職員の意識を高めることもできた。	A B C D
5 特別支援教育	・全ての教育活動の中で特別支援教育を意識した教育活動を着実に進行。 ・特別な支援が必要な子どもについて個別の指導計画や支援計画を着実に作成し、支援の充実を図る。	個別の支援計画や指導計画をしっかりと活用しながら、保護者や児童のニーズを大切にしながら特別支援の充実を図ることができた。子どもの安心や意欲の向上につながった。	A B C D
6 地域連携	・地域の方々との直接的なかかわりの大切さや価値を子どもたち自身が意識し、感謝の気持ちをもって、主体的に取り組む。 ・活動の発信を積極的に進行。	本校の特色である地域と連携した活動を今年も多く進めることができた。地域の方々の思いを子どもにしっかりと伝え、それらの活動の意義をとらえさせるようにした。	A B C D
人材育成 組織運営	・一人ひとりが課題やテーマに対して主体的に臨めるようなメンターチーム等の若手育成を行う。 ・学校運営協議会との連携を図る。 ・主幹会、教務会等のリーダー会議の充実を図り、早目かつ的確に対応力を進める組織	具体的テーマを決めて、メンターチームの活動と充実をしっかりと図ることができた。若手職員の自信を高めることにもつながった。主幹会や教務会もタイムリーに行い、様々な課題についてフットワークよく動けるようにできた。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	・3校合同授業研究会を中学校ブロックの各校で行い、9年間を視野に入れた指導について、率直に意見交換を合い、それをふまえた日々の授業改善に取り組むことができた。小中の取り組みをとおして授業力・児童理解力を高められた。 ・児童指導、児童理解、特別支援での小中の連携の充実も図ることができ、特に中一ギャップを解消するための手立てを、中学校とともに充実させることができた。 ・年間を通じて、地域行事に合同で参加し、地域との活気的な		
学校関係者 評価結果	・学校が地域・中学校ブロックとの連携を図りながら教育活動を進めていることの結果についてのご理解や、今後へのさらなる期待の声をいただいた。 ・児童理解や児童指導、児童支援については、保護者や地域がよりネットワークを充実させ、子どもの周りの大人が学校と連携を合いながら子どもと積極的にかかわることの大切さを共有した。		
評価結果 に対する 学校の見解	・本校の特色ある教育活動について、そのねらいやめあてをより明確にし、それらが子どもにも地域の方々にも、より充実感や達成感のあるものとなり、その価値をお互いが実感できるようさらに改善を図る。 ・地域、保護者との連携をより重視した児童支援、児童指導体制を構築する。		
学校経営 中期目標 達成状況	本年度特に重点を置いた授業力向上と組織で対応する児童指導支援体制の充実について、その成果を具体的な子どもの姿や力の高まりとして確認することができた。また、地域との連携、異学年との交流、中学校ブロックでの活動等、本校の特色ある教育活動の充実を図ることもできた。安心安全な学校づくりに取り組めた。		

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな学力	・課題について自分の考えをもち、その考えを相手にわかりやすく伝える力の育成と学力の向上を図る。 ・より確かな定着が図れるためのノート指導の工夫をする。	・ねらいを明確にした積み重ねのある授業力向上に向けての研究ができた。 ・伝える力、日常の結びつきを明確にした授業デザインの構築、子どもたちへの情報提示等について、次年度重点的に取り組んでいきたい。	A B C D
2 豊かな心	・学年ごとに具体的なめあてを明確に設定し、縦割り活動や地域の方々との活動を通して、子どもたちの達成感や自己肯定感、相手意識を高める教育活動を進める。	・KFT等による異学年との交流、地域の方々との交流についての価値や意義を子どもたち自身もしっかりととらえていて、成果があった。 ・引き続き、充実した活動となるよう、各学年毎のねらいや活動内容を明確にして取り組んでいく。	A B C D
3 健やかな体	・長縄チャレンジやマラソン週間に向けての取り組みを子どもたちが主体的に進め、体力向上に前向きに臨む意識を高める。 ・姿勢をよくなる取り組みも進める。	・長縄、マラソン、ドッジボール等、年間を通じて、子どもたちも楽しみながら体力づくりに取り組んでいく意識を高める。 ・姿勢体操については、より日常化を図る必要がある。	A B C D
4 児童指導	・ブロック学年研究会、児童指導支援委員会を核として、組織で、早めに対応する学校としての体制の、より一層の充実を図る。また、視点を明確にした振り返りを生かしていく。	・ブロック学年、各学年での対応力が高まった。全職員で組織として対応する体制も進んでいる。引き続き「早めに」「丁寧に」をモットーに適切に対応していきたい。	A B C D
5 特別支援教育	・全ての教育活動の中で特別支援教育を意識した教育活動をより一層充実させる。 ・特別に支援が必要な児童への支援や指導の充実を図る。	・個別に支援が必要な児童への組織的な対応が定着した。 ・全ての教育活動の中で、特別支援教育の視点をもっていくことについて、さらに研修を進め充実を図っていききたい。	A B C D
6 地域連携	・地域の方々との直接的なかかわりを学校のかけがえのない特色として大切にを進めていく。 ・児童にとっても地域の方々にとっても達成感や温かさのある連携であるように進めていく。	・今年度も地域の皆様に多くの場面でご支援、ご指導をいただき、子どもたちが『地域の方々』あるいは『地域の自然・特徴』の大切さを実感することができた。今後も充実を図っていききたい。	A B C D
人材育成 組織運営	・授業の進め方、児童理解、学級指導等、具体的なテーマ設定し、それについて丁寧に学び合える若手職員の研修を進める。また、それにより、若手職員の連携を図る。	・メンターチームのチームワークは大変よかった。 ・研修の内容を吟味し、深めていけるとさらに力となる。来年度の研修計画に反映させたい。	A B C D
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	昨年度に引き続き、3校の授業研、部会を組織しての研究、合同研修、合同メンター研修、そして中学校教員による小学校6年生の授業指導等の取組に重点を置いて進めている指導や教育活動についての成果についても理解をいただき、それを踏まえた上での、小中連携による9年間の指導の充実が図れていった。		
学校関係者 評価結果	算数の重点研究が高まった授業力が他の教科の指導にも波及していることで全体のレベル向上につながっている。子ども一人ひとりをよく見て、良いところは認め・伸ばし、改善するべきところは見逃さず指導している。3校の連携も充実している。また地域との連携もよく図られている。細かな最新の情報をオープンにしている学校の姿勢も素晴らしい。教職員のチームワークも大変よい。		
評価結果 に対する 学校の見解	3年間、特に重点として取り組んできたことについて、ご理解をいただき、またそれらの成果を認めていただくことができた。今後も地域や3校ブロックでの連携をしっかりと図りつつ、学校教育目標の着実な実現へ向け一層努めていきたい。		
学校経営 中期目標 達成状況	子どもにとってわかる・楽しい授業を進める力、組織として丁寧に早めに対応する児童指導支援、地域の方々や地域の特徴を大切にした教育活動、KFT縦割り活動等を通しての他者意識や自己肯定感の育成、職員の組織力等、本校として特に重点としてきたことについて、一定の成果を上げることができた。		

※達成状況 : A…十分達成 B…概ね達成 C…努力必要 D…改善必要

共通取組 重点取組	平成25年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

共通取組 重点取組	平成26年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
1 確かな 学力			A B C D
2 豊かな 心			A B C D
3 健やかな 体			A B C D
4			A B C D
			A B C D
			A B C D
人材育成 組織運営			A B C D

外部委員 評価結果	
学校関係者 評価結果	
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

★★★印のところのご記入と総括評価のご記入をよろしく願いたします。
 また、全ての項目でなくてもかまいませんので、★印のところもご記入いただくと、ありがたく存じます。
 ご記入いただけましたら、返信用の封筒で3月18日までにご投函いただけますと幸いです。
 ご多用のところ大変恐縮ですが、よろしく願い申し上げます。

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	外部評価	総括
1 確かな 学力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について自分の考えをもち、その考えを相手にわかりやすく伝える力の育成と学力の向上を図る ・より確かな定着が図れるためのノート指導の工夫をする。 	★	A B C D
2 豊かな 心	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに具体的な目あてを明確に設定し、縦割り活動や地域の方々との活動を通して、子どもたちの達成感や自己肯定感、相手意識を高める教育活動を進める。 	★	A B C D
3 健やかな 体	<ul style="list-style-type: none"> ・長縄チャレンジやマラソン週間に向けての取り組みを子どもたちが主体的に進め、体力向上に前向きに臨む意識を高める。 ・姿勢をよくする取り組みも進める。 	★	A B C D
4 児童指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック学年研究会、児童指導支援委員会を核として、組織で、早めに対応する学校としての体制の、より一層の充実を図る。また、視点を明確にした振り返りを生かしていく。 	★	A B C D
5特支 援 援 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教育活動の中での特別支援教育を意識した教育活動をより一層充実させる。 ・特別に支援が必要な児童への支援や指導の充実を図る。 	★	A B C D
6 地 域 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との直接的なかかわりを学校のかげがえのない特色として大切に進めていく。 ・児童にとっても地域の方々にとっても達成感や温かさのある連携であるように進めていく。 	★	A B C D
人 材 育 成 組 織 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、児童理解、学級指導等、具体的なテーマを設定し、それについて丁寧に学び合える若手職員の研修を進める。また、それにより、若手職員の連携を図る。 	★	A B C D

小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	
学校関係者 評価結果	★★★
評価結果に 対する 学校の見解	

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--

※達成状況 : A … 十分達成 B … 概ね達成 C … 努力必要 D … 改善必要

※達成状況 : A … 十分達成 B … 概ね達成 C … 努力必要 D … 改善必要